

町 長	副町長	教育長	課 長	主 幹	担 当	合 議

別記様式第4号

会 議 等 結 果 報 告 書			
会議区分	会 議 ・ 打 合 せ ・ 協 議	文書番号	3 6 7
		決裁期日	平成24年 9月18日
名 称	第2回放課後子どもプラン事業運営協議会会議		
日 時	平成24年 9月14日 16時00分 ~ 16時55分		
場 所	社会教育総合センター 大集会室		
出席者	委員：稲毛委員長、米澤副委員長、中村、山口、佐藤、安西、杉本、安井、井上、藤田 10名(2名欠席(金谷、加藤)) 教育委員会：教育長、教育振興課長、鈴木主幹、飯村主任、月東指導員		
内 容	<p>教育振興課長進行</p> <p>教育長、稲毛委員長挨拶後、稲毛委員長の議事進行により運営協議会を進行した。</p> <p>教育長挨拶</p> <p>第2回放課後運営協議会にお集まりいただき、ありがとうございます。5月の会議以降の放課後の経過等、また指導員の対応について問題があり、その説明と本年度より夏休み中に教育委員会でちょこっと学習を開催し、それに伴い放課後でも新しい取り組みとして自主学習の時間を設けた。その報告と後期に向けて意見賜りたい。</p> <p>稲毛委員長挨拶</p> <p>4か月ぶりの会議で意見たまっていることと思います。本日は、皆様のご意見を聞き、活発な会議にしたい。</p> <p>報告事項・・・(1)～(3)まで飯村より報告、(4)・(5)を鈴木主幹より報告</p> <p>(1)登録及び利用状況等について</p> <p>8月末現在の昨年同期と比較し上小・上西小共にクラブの登録者数が増加している。スクールについては、上小・上西小共に登録者数が減少している。しかし延べ利用人数は、上小では昨年同期より増加している。上西小は昨年より大幅に減少しているが、利用者がチャレンジタイムの内容により参加するかどうかを決めている状況が見受けられ、体育館の改修が要因ではないかと推測される。</p> <p>地域ボランティアについては、4月から8月までに延べ65名の支援いただいた。</p> <p>(2)事故・保険請求について</p> <p>8月末現在で、6件の事故が発生し、保険請求手続き終えている。また、9月12日に上小2年女児が怪我をし、現在通院治療中であることを追加報告した。</p> <p>(3)研修会等の参加状況について</p> <p>5月の会議以降、3回の研修会が開催され指導員が参加している。10月10日(水)に道・道教育委員会主催の学校・家庭・地域の連携による教育支援活動促進支援事業研修</p>		

内 容

会の第 2 回目の研修会があり、こちらにも 3~4 名の指導員の参加を予定していることを報告した。

(4)7月18日(水)上小放課後プラン事業における指導員の対応と経過について

7月18日に上小放課後プランにおいて、1年男児に指導員としてあってはならない暴行を加えたことについて経過について報告する。

この件で、当該指導員については7月末で職を退いており、現在19名の指導員体制で運営している。また、9月1日より多胡逸郎氏をコーディネーターに委嘱した。

今後は、引き続き指導員の研修の機会を設けること、保護者並びに学校との情報交換を随時開催し、学校・家庭の状況について情報共有しながら指導に当たっていく。

(5)その他

9月1日からの指導員体制については(4)で述べたとおり。

夏休み期間における朝学習の実施について、本年度から9時30分~10時30分の1時間を設定し、15分間を会場への移動・準備の時間、45分間を朝学習の時間として設け、学校から出された宿題、教育委員会が用意したプリント、図書館から本を借りて読書をする等、学年ごとに部屋を分けるなど工夫して学習時間設けた。

冬季休業中もカリキュラムについて検証し、スケジュールを決めながら実施について進めていきたい。

質疑応答

稲毛委員長：放課後クラブでちょこっと学習を実施したということか。

教育振興課長：放課後クラブにおいては、朝学習時間を設け自学に取り組んだ。ちょこっと学習は、教育委員会が主催し武道館を会場に3日間開催した。教師、高校生等のボランティアが勉強を教えた。今後も学力向上対策の一環として続けていく。

鈴木主幹：長期休業中のクラブの実施時間が、9時から18時までで、親の就労時間によっては、家庭で宿題をする時間をとるのが難しいことも予測され、本年度より朝学習の時間設けた。今後も指導員から改善点など意見もらいながら続けていく。

稲毛委員長：学習時間を設けるように国からの指導があって実施したものか。

教育振興課長：そうではなく、独自の取り組み。全国的にみると、北海道の学力は下位の方であり学力向上が課題である。そのような中で、自己学習の時間を取り入れ、学習をする習慣を身につけることの必要性から実施した。今後、皆さんと相談しながら長期休業だけでなく、通常のクラブの中でも実施できればと考えている。

報告および質疑応答を終え、協議事項に先立ち各委員よりご意見等頂いた。

中村委員：日誌等見させていただき、子供たちの様子読み取れる。問題なく進む日ばかりでなく、トラブルあったりして指導員が大変苦勞していると思う。休み中の学習については、時間と場所設けていただき良かった。その場で子供なので、「教えて」と言われることあるのではと思うが、その点について指導員より課題等状況教えていただくことで、何か良い手立てが見いだせればと思う。

山口委員：東中小は、13名の児童全員参加で行っている。少年団活動で途中までの参加や参加できない日がある児童もいる。少年団に行く子も最後まで参加したいと言いながら途中で抜けており、皆大変楽しみにしている。

地域ボランティアの支援状況についてお聞きしたいが、東中小学校でも実施していただけるのか。また、実施する場合は、学校からお願いすることになるのかお聞きしたい。

飯村主任：毎月、指導員会議の際に次月の予定を決め、事務局よりボランティアの方々に都合等うかがいお願いしている。現在は、上小、上西小での開催にとどまっているが、内部でも検討し、東中小、江幌小でも開催できればと考えている。

ただ、ボランティアの方々は、チャレンジタイムの始まる時間に各自で学校に集まっていたくことになっており、教育委員会が送迎しているものではないため、東中小、江幌小まで各自で来ていただくことが可能な方に限られる。

バドミントンについては、稲毛委員長にお願いしており、東中小、江幌小へ出向くことも可能の旨確認しており、ご要望に答え今後のメニューの中に取り入れていく。

佐藤委員：今年の会議の中で、自学であれば指導員が教えることもないので、放課後の中で学習の時間取り入れられないかとの意見出したところ、今年の長期休業中に取り入れていただき、何回か見に行った。最初は指導員の方も戸惑いがあり「教えて」と言われたら大変だとの思いから子供たちから離れて見守っていたが、後半は子供たちの側で話を聞いてあげる姿が見られた。

学力向上のための指導となると大変だが、そうではなく家庭学習の習慣化ができればよいので、そういう面では定着されたのではと考える。

協議事項にもあるが、先日、上小の校長先生から特別児童等に係る情報交換について、今までは形だけという状況だったが、支援の子供の扱い指導について一生懸命交流ができており、こういう機会をもっと充実していければとのお話があった。

安西委員：夏休み中に何度か午前の勤務になり、朝学習の時間の子供たちの様子を見たが、ほとんどの子供が20分～30分で集中力切れる。学年で部屋を分けて実施したのは、やりやすかった。直接指導することはなかったが、計算は教えないが、漢字の書き順などは、誤った書き方をしている子には教えたいと思った。上小の先生方が子供たちの様子を何度か見に来てくれた。その際の子供たちへの接し方が大変勉強になった。

杉本委員：1日子供たちと接していくの大変だろうと思う。指導員の方には、大変だと思うが、頑張っていたきたい。

安井委員：朝学習を始めたり、延べ利用人数も昨年より増えており、指導員には敬意を評したい。

井上委員：朝学習は、保護者からも宿題を放課後で取り組む時間を設けてくれたことに対して感謝の言葉あった。この時間は、学習に取り組むという姿勢を作ることは大事だと思った。また、9月10日に支援の子供たちについて情報交換したなかで、支援の子ども達が、放課後の中でみんなと一緒に行動することができるかと言えばそうではなく、その子の個性もあるのでその子にとって本当にいい場所はどこなのか、施設の充実など町でみんなで考えていった方がよいのではという話があった。

藤田委員：昨年までは朝学習がなかったため、宿題を持ってくる子と持ってこない子が半々で、時間も決まっていないので朝やる子、ダラダラと昼過ぎから始める子とメリハリなく、また宿題をやっている子の側を走り回る子などがいて環境が良くなかった。今年は、時間を定め、取り組む部屋も学年で分けたこともあり自学に取り組む姿

勢がすごく見受けられた。指導員は教育者ではないので、教えることは難しいが、「字を綺麗にかけたね」等の声かけをし、子供たちにやる気を持たすようにした。子供達も学校の先生と指導員は違うということを理解しており、あまり「教えて」とは言っていない。学校の先生が見に来た時は、子供たちが先生に群がり、勉強を教えてもらったり、丸付けをしてもらったりしていた。朝学習の取り組みは、冬休みも取り組んでいった方が良いと思う。

協議事項

(1)特別支援児童等に係る学校との情報交換について

4月から本日現在までに上小2回、上西小1回の計3回実施、8月2日に実施した保護者説明会の中でも放課後と学校との情報交換、放課後と保護者との情報交換について問題が起きた時には随時行うことを説明している。

今後状況によっては、東中小、江幌小についても情報交換お願いすることあることを了承願いたい。

また、情報交換の方法については、現在は複数名の児童について各担任の先生の日程を調整いただき、一同に会して行っているが、放課後と学校での様子を伺う程度のものであれば、文書なりメールなりで情報提供し回答いただくような方法も検討しているがその点について協議願いたい。

中村委員：人間関係等、学校と放課後と引き継ぐことある。学校の方としても、放課後での様子を教えていただけると参考になる。放課後での怪我等についても、教えていただけると各担任も学校生活の中でも対応考えれるので教えていただきたい。

山口委員：当校でも特支に関わる部分で、気になる子供がいる。ほぼ毎回、放課後終了後に指導員の方にその子について気になることはなかったか聞いているが、今のところ大丈夫とのお話しいただいている。何か問題があった時には、東中小では土台ができていると思うので、必要があればお願いしたい。

安井委員：発達支援センターを利用されている保護者には、幼稚園や保育所と情報交換をする場合、保護者の知らないところで情報が行き来するということもあり、情報交換をする前に事前に承諾を頂いているが、放課後では承諾をとって行っているか。

教育振興課長：情報交換の密度を高めるということは、8月2日の保護者説明会で説明し、欠席者には文書で周知している。

鈴木主幹：今年度については、説明会および文書で周知した。次年度の保護者説明会のなかでも周知していく。

協議事項(1)について、今後も情報交換を随時行うことで承認いただく。

(2)次回開催時期について

次回の運営協議会の開催時期を冬季休業中の1月中旬頃とし、教頭会と協議の上、決定し案内することを報告し、第2回の運営協議会を終了した。